



毎年春に「交通安全教室」を実施しています。駐在所、交通安全指導員、PTAと連携し、自転車の正しい乗り方や死角・巻き込みなどについて学びます。自分の命は自分で守る大切さを改めて確認するとともに、交通安全への意識の向上を継続的に指導しています。(中富良野町立旭中小学校)

おもな内容

随想.....1
研修講座寸描.....2・3
夏季研修講座一覧.....3
研究室だより.....4
研究協力校の紹介.....5
教育講演会・出前講座の紹介.....6
センターのサイトの紹介.....6
心に残る授業 その⑨・人事短信...7
フィンランド視察のお知らせ.....8
2か月後アンケートの結果.....8
センター料金改定のお知らせ.....8

随想

千年後の命を守る
子どもたちの学び

上川教育研修センター

所長 矢口元晴



未曾有の被害をもたらしたあの東日本大震災から既に三年が過ぎましたが、私は、これまで、東北地方の各被災地を三度訪れてきました。特に、数十年前に訪れた海岸や街並みが、大きく破壊された様子を目の当たりにしたときの衝撃を今も忘れることができません。災害の大きさを物語る気仙沼の内陸に漂着した大型漁船、そして、たくさんの犠牲者がたまたまの防災センター等を震災遺構として残すかどうかわからない地域の方々、随分熟議を重ねていました。そのような中、女川町の中学生の皆さんは、「大切なのは、また来るであろう震災から千年後の命を守ることで、倒れたビルを残すことができれば、後世の人たちにも津波の威力を現実に起こることとして伝えることができる。」として、未来の人々のために自分たちは我慢して倒壊したビルを記念館として保存することを訴えました。また、これから生まれてくる千年後の一人ひとりを守るため、町内にある二十一の安全な高台に石碑を建てることを発案し、実現に奔走した中学生の授業が注目されました。設置に必要な費用一千万円を集めるため、修学旅行先でも募金を行いました。昨年八月、目標額に達したというのです。既に校庭にも設置された「メイトル余りの石碑(写真)」には、「女川のいのちの石碑 千年後の命を守るために」と刻まれています。また、この石碑は、東日本大震災の津波到達点より高い所に設置されており、被災の悲しみを乗り越えて、これから生まれてく

る人たちに、あの悲しみや苦しみを二度とあわせたくないという願いで建てた事なども刻まれていいます。今は世界遺産となつているあの原爆ドームでさえ、平和記念公園前でドーム保存を訴えた十人ほどの中学生が募金と署名を呼びかけたことが保存のきっかけでした。いつの時代も、大変な状況の中で、未来に生きる子どもたちの真剣な学びや行動が地域の人の温かい支えで実を結び、石碑建立や遺構保存の原動力になったことに深い感銘を覚えます。未来からの贈りもの「子どもは、千年後の未来の人々を守ろうとしますが、千年後の未来の人々に息づいていないことは頼もしい限りです。どんなに厳しい状況にあつてもあきらめることなく未来を考える存在として力を発揮し続けようとする子どもたちがいるからこそ、社会の発展はあるのだと思えます。厳しい状況に凛として対峙し、明日への希望のために努力し続ける子どもたちの力強い行動が、今後、安全で安心な社会をどう構築するべきなのかを教えるべく、このように未来を切り拓こうとする思考力や実践力は、次代に必要な学びが今



「地域に貢献しよう」をテーマに総合的な学習の時間を活用し、年に四回実施している地域ボランティア活動「啓中タイム」です。今年も、雪解けが遅かったためか例年以上に多くのごみが回収されました。(旭川市立啓北中学校)

センター 1 日誌

- 4月1日 新任所員就任
4月16日 研修講座講師委嘱状交付式
4月18日 講座内容研究協議会
4月24日 講座受講希望一次締め切り
5月13日 パソコン講座運営委員会
5月30日 研修講座開始(学校事務実務)
7月1日 パソコン講座開始(D・WE B制作)
随時 センターだより第117号発行
随時 毎週火曜日 定例研究室会議
随時 研修講座講師打合せ会議

研修講座
寸描
その1

委嘱状交付式、
講座内容研究協議会



四月十六日、三十五講座の講師八十九名にお集まりいただき、研修講座の講師委嘱状交付及び講座内容研究協議会を実施いたしました。

始めに、上川教育局、旭川市教育委員会の方々が見守る中、センター組合小池語朗教育長から、奥山ゆみ子明星中学校長が講師の代表として委嘱状を受け取り

ました。

その後の講座内容研究協議会では、教育の今日的課題を追究できる講座づくりを目指して、内容・日程等について具体的な打合せが行われました。

五月十三日の「学校事務実務」を皮切りに、本年度の研修講座がスタートしました。

1 学校事務実務 5/13・14

講座の様子から

今回の研修講座では、学校教育における事務職員の役割や今後の課題について学びました。研究協議会では、上川の事務職員の方々と交流を深めることができましたので、大変有意義な研修になりました。ありがとうございました。

(旭川市立旭川第二小学校 葛西 賢人)



佐藤 保 (神楽中 校長)
関川 智恵 (北海道教育庁教育職員局教職員事務センター 市町村立学校旅費第二グループ 主任)

|| 講師 ||

椎名 俊文 (明徳小中 事務職員)

2 特別支援教育 5/14

山内 功 (北海道立特別支援教育センター 教育課 自閉症・情緒障害教育室 研究員)

加藤 勝 (朝日小 教諭)

後藤 博美 (新富小 教諭)

垣副 澄絵 (北都中 教諭)

支援と評価の在りようについて、深く考える機会となりました。また、各学校での取組や問題を話し合う中で、自らの学級の問題に取り組む際の指針となりました。また参加したいと思えます。大変ありがとうございました。

(旭川市立近文第二小学校 梅澤 耀)



(3)

3 学級経営 5 / 15

水竹岡桑
上谷原
典康栄啓
美史樹成
(北東神(愛
都都小小宿
中中小小小
教教教頭
諭諭諭)

講師



学級経営の大切さ、教師としての心構え、危険予知など、これからの学級経営に生かしていきたいと思えます。
「これから私も、専門は学級経営です。」と答えられるように努力していきたいと思えます。ありがとうございます。
(旭川市立啓明小学校 松下 和生)

夏季休業を利用して研修を深めませんか？

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申し込みを随時受け付けております。

希望される場合は研修センター（24 2501）にご連絡ください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月28日(月)	国語科指導	研修センター	2回目9月3日
7月28日(月)	表計算活用	研修センター	パソコン講座
7月29日(火)	社会科指導	研修センター	2回目10月1日
7月30日(水)	算数・数学科指導	研修センター	2回目8月28日
7月30日(水)	外国語科(英語)指導	研修センター	2回目9月2日
7月30日(水)	表計算入門	研修センター	パソコン講座
7月31日(木)	教育講演会	旭川市大雪クリスタルホール	
8月1日(金)	理科指導	研修センター	2回目9月2日
8月1日(金)	生徒指導	研修センター	2回目10月9日
8月4日(月)	道德教育	研修センター	2回目10月15日
8月4日(月)	生活科・総合的な学習の時間	研修センター	2回目10月10日
8月4日(月)	タブレットPC	千代田小	パソコン講座
8月5日(火)	幼稚園教育	研修センター	
8月5日(火)	プレゼン活用	研修センター	パソコン講座
8月6日(水)	いじめ・不登校	研修センター	
8月6日(水)	表計算個別課題解決	研修センター	パソコン講座

~ 夏休み終了直後に行われる研修講座 ~

8月27日(水)	学級活動	東光小	
8月27日(水)	音楽科実技	東光中	
8月28日(木)	算数・数学科指導	知新小・東陽中	
8月29日(金)	技術・家庭科実技	東栄小	
9月2日(火)	理科指導	旭川小・神楽中	
9月2日(火)	外国語科(英語)指導	常盤中・日章小	
9月3日(水)	国語科指導	東栄小・忠和中	
9月3日(水)	指導技術基礎	西神楽中	

今、研究室では…

上川教育研修センター 第16次研究のスタート

本年度より、上川教育研修センター第16次研究がスタートしました。15次研究の成果を発展させ、学びの基盤を整備し、確かな学力を育てる研究を行います。多くのご意見をいただきながら研究を進めていきたいと考えております。9月に所員、10月に研究協力校3校による授業実践を行う際には、各校にご案内させていただきますので、多くの皆様のご参観、よろしくお願いいたします。

研究主題

学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方

～思考力・判断力・表現力を育む指導と評価～

求める児童生徒像

基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、それらを活用して思考力・判断力・表現力等を高めながら、主体的に課題を解決することができる児童生徒

研究の仮説

学びの基盤を整備し、児童生徒の思考の流れに沿った問題解決的な学習過程の中に、意図的・計画的に言語活動を位置付け、目標・指導・評価を整合させることにより、思考力・判断力・表現力を育み、確かな学力を育てることができるであろう。

研究内容

【研究内容1】 指導計画の工夫

- ▼目標・課題・まとめ・評価の整合
- ▼各教科の特質に応じた言語活動の意図的・計画的な位置付け

確かな学力を育てるために、児童生徒の思考の流れに沿った授業を展開できるよう、指導計画の工夫について研究します。

【研究内容2】 授業展開の工夫

- ▼学習内容を明確にする導入と学びを振り返る場の設定
- ▼思考力・判断力・表現力を育む発問・板書・学習形態

「学習内容を明確にする導入」「学びを振り返る場」の設定や、授業展開に応じた手立ての工夫について研究します。

【研究内容3】 学習評価の工夫

- ▼効果的・効率的な評価の工夫
- ▼学ぶ意欲を高める自己評価の在り方
- ▼思考力・判断力・表現力の評価の在り方

確かな学力を育てるために、目標の達成状況をしっかり把握し、指導に生かす学習評価の工夫について研究します。

教室環境の整備

学習規律の確立

支持的風土の醸成

平成26年度「研究協力校の紹介」

旭川市立愛宕小学校

〔研究主題〕

「自ら学び、表現し合う子どもの育成」
 「学ぶたのしさを味わい、主体的に考えを表現できる算数の授業作りを通して」

一 研究の重点
 児童が、互いに関わり合うことを通して、自他の考えのよさに気付き、共に高まっていくことのできる授業の構築を目指す。主体性の育成を重視し、児童の意欲を引き出す学習指導の在り方を研究する。

二 研究の内容
 見通しをもてるようにするための工夫
 集団思考の充実
 知識の定着・評価の工夫

三 研究計画
 4・5月 校内授業研究の指導案検討

6月 校内授業研究
 特別支援授業交流週間・学習会

7月 校内授業研究の指導案検討
 8・9月 校内授業研究

10月 校内授業研究の指導案検討
 11月 校内授業研究
 12月 校内授業研究
 1～3月 研究のまとめ

次年度に向けて



旭川市立東光小学校

〔研究主題〕

「自ら考え、進んで表現し、高め合う子ども」
 「見通しや振り返りを重視した問題解決的な学習」

一 研究の重点
 問題解決的な学習において、見通しや振り返りの活動の充実を図ることにより、学習意欲が持続し学びの豊かさを実感できる授業構築に努める。また、「思考力」を育てる指導過程を工夫することにより、互いに高め合いながら主体的に学び合う子どもの育成を目指す。

二 研究の内容
 持続的な意欲を生み出す「見通す」活動の工夫
 学びの豊かさを実感する「振り返り」の工夫
 「思考力」を育てる指導過程の工夫

三 研究計画
 4・5月 研究内容・計画の共通理解、実技研修
 6～8月 指導案検討、夏季研（校内授業研）
 9～11月 実技研修
 指導案検討、秋季研
 自主公開研（11/13）

12月 研究の振り返り、実態調査
 1～2月 研究のまとめ、次年度に向けて



東川町立東川中学校

〔研究主題〕

「授業が楽しく、わかる喜びを感じる生徒の育成」
 「問題解決的学習における指導方法の工夫を通して」

一 研究の重点
 生徒が楽しいと感じる授業づくりを通して、基礎・基本の定着や家庭学習の意欲化を図る。学習活動の土台となる授業における「わかる喜び」を求め、各学習過程での指導方法の工夫を行う。

二 研究の内容
 導入段階の課題を確実にとらえさせる工夫
 各学習過程の内容やそのつながりの工夫
 学習形態の流れの工夫

三 研究計画
 4・5月 研究内容・研究計画の共通理解
 理論研究

6月 研究授業の構想・指導案検討
 7・8月 校内授業研究
 9月 校内授業研究
 10月 校内授業研究
 11月 校内授業研究

12月 研究のまとめ・次年度に向けて
 1～3月



教育講演会のご案内

演 題

「確かな学力の基盤となる運動の重要性」

～運動のできる子どもは勉強もできる～



と き 7月31日(木) 13:30～15:30

と ころ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室(旭川市神楽3条7丁目)

講 師 深 代 千 之 氏

(東京大学大学院総合文化研究科教授)

講師略歴 昭和30年に 群馬県生まれ
昭和54年に 東京大学大学院教育学研究科修了 博士(教育学)
昭和59年に 鹿屋体育大学助手
昭和63年に (財)スポーツ医・科学研究科 副主任研究員
平成5年に 東京大学大学院生命環境科学系 助教授
平成16年に 東京大学大学院情報学環 准教授
平成20年から 東京大学大学院総合文化研究科 教授

講師紹介

(社)日本体育学会前理事, 日本バイオメカニクス学会理事長, 国際スポーツバイオメカニクス学会理事, 国際バイオメカニクス学会元理事, (財)日本陸上競技連盟元科学委員。

日本のスポーツバイオメカニクス研究の第一人者でトップアスリートの動作分析から子どもの発育発達まで、幅広く研究している。文部科学省の冊子や保健体育教科書の作成にも関わり、現在、日本の体育教育に関するオピニオンリーダーである。

主な著書に「新、運動会で一番になる方法」、「知的スポーツのすすめ」、「運動神経の作り方」等多数。テレビ番組「世界一受けたい授業」、「ビートたけしのTVタックル」等に多数出演。

夏季休業中は、研修の絶好の機会ですので、ぜひこの教育講演会にご参加ください。

上川教育研修センターのサイトをご利用ください!

平成24年4月1日よりURLが変わりました。(<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>)

受講後アンケートもこちらから回答できます。



施設概要：研修センター利用(宿泊や貸室など)について載せられています。

研究室：研究紀要が見られます。

開催要項：講座の一覧や講座の要項のダウンロードができます。また、申込書のダウンロードもできます。

センターだより：年間3号発行される上川教育研修センターだよりのバックナンバーを読むことができます。

資料室：研修センターにある様々な文献のデータベースをダウンロードして一覧を見ることができます。

アンケート：受講後アンケートやパソコン実技講座の受講アンケートなどを回答できます。

リンク：教育委員会や教育関係センター・行政・研究機関・自治体のリンク集です。

出前講座のご活用を

出前講座は、校内研修および地域の教育研修を支援することを目的としています。各学校だけでなく、教育研究団体・サークルなどの要請にもお応えします。申込み方法、講座内容の例は下記のとおりです。ぜひ、ご活用ください。

申込み方法：「研修講座開催要項」P32にあります「出前講座受講申込書」に必要事項をご記入の上、研修センターへFAXしてください。

今日的な教育課題	放課後学習, 学力向上, キャリア教育, 小中連携など
教科等指導(国, 算等)	指導計画, 評価, 言語活動等, 校内研究にかかわる事項など
小学校外国語活動	様々なアクティビティー, ALT との効果的な指導の在り方など
各種実技指導	リコーダー(音楽), 木版画(図工・美術), 毛筆(書写)など
生徒指導	いじめ・不登校への対応, 教育相談, ピアサポートなど
特別支援教育	各種発達障害の理解, 交流および共同学習など
パソコン実技	表計算, 画像処理, プレゼン, WEB制作など

心に残る授業

その69



旭川市教育委員会
教育指導課課長補佐
坂東 裕美

「生徒が一人で歌う場面を設定したのですが、しつかり歌えるだろうか。」研究会の数日前、授業者が心配そうな表情を見せたことを思い出します。

中学校第三学年の音楽「カンツォーネの魅力を感じ取り、思いを生かして表現しよう」という題材です。

本時は、イタリア歌曲「帰れソレントへ」の歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫しながら自分の思いを生かして歌唱表現をする場面でした。

はじめはア・カペラの練習に戸惑っていた子どもたちも交流が始まると徐々に緊張がほぐれ、「この部分は、歌詞の意味からpoco（ドルチェ）で甘くやさしく歌いたい」「恋人に戻って来てほしいという思いの高ぶりを表現するために、早めにf（フォルテ）にしてみましたらどうだろう」と、音楽

表現を試し聴き合つ中で、子どもたち一人一人の思いや意図が明確になっていきました。

そして最後の独唱の場面。そこには子どもたちのみなぎる姿がありました。聴いていた子どもたちからは歓声と大きな拍手が沸き起こりました。

子どもたち同士の温かな人間関係、よさを認め合い高め合いながら目標の実現に向けて取り組むひたむきな姿達成感いっぱい表情に、私自身胸が熱くなりました。

子どもが学び合い高め合う協同的な授業を構築していくことは、授業づくりの大切な視点であります。

「自分の表現のよさに気付いたり、友達の表現から新たな表現方法を学び、音楽の幅が広がりました」と学習シートに記入していた子どもがいましたが、「この子どもたちならきっとできる」と信じ続けた教師の思い、子どもへの信頼、よさを見付け、認め励ます指導が、日々、積み重ねられていたのだと思います。

仲間とのつながりを深めることの実は、子どもにとって大きな学びであり喜びであると思います。子どもたち一人一人の輝く姿が心に残る素晴らしい授業でした。

人事短信

平成二十六年就任・退任研修センター所員を紹介します。



所長 矢口 元晴
管内教育の更なる充実と発展のため、魅力があり、多くの皆様に親しまれる研修センターとなるよう努めて参ります。



副所長 小谷 要次
上川教育研修センターの伝統と使命を堅持し、学びの質が高まるセンター運営に努力してまいります。



指導員(愛宕中) 村田 靖彦
充実した研修講座となるように心がけ、一杯努力して参ります。どうぞ、よろしくお願いたします。



指導員(白章小) 佐々木 玲
管内教職員とのICT活用力向上に少しでも貢献できるように、一杯努力いたします。どうぞ、よろしくお願いたします。



研究員(霧凧) 小田島 充彦
日常の授業で活用できる研究となるよう、微力ではありますが、努力いたします。どうぞ、よろしくお願いたします。



研究員(第三小) 竹中 一三
管内の各学校の校内研修や日々の授業改善に活用していただける研究を発信して参ります。よろしくお願いたします。

退任 お世話になりました

前所長 鷲見 正雄

前指導員 伊東 靖彦
(旭川市立緑が丘中)

前指導員 吉野 法行
(旭川市立光陽中)

前研究員 北川 真美
(旭川市立春光小)

前研究員 小野 義幸
(東神楽町立東聖小)

研修センター所員

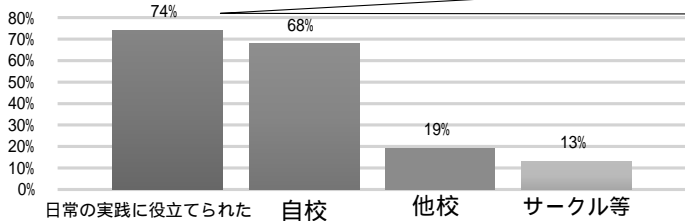
所長	矢口 元晴	指導員	佐々木 玲 (日章小)
副所長	小谷 要次	研究事業部長	川瀬 元信 (北鎮小)
事務部長	渡邊 修二	研究員	相澤 朋子 (共栄小)
事務員	小林 晴美	研究員	堀川 誠二 (東神楽中)
事務員	笹谷 青子	研究員	清杉 陽一 (緑が丘小)
指導員	吉田 明弘 (緑新小)	研究員	青木 賢二 (明星中)
指導員	森木 真也 (永山西小)	研究員	小田島 充彦 (東神楽小)
指導員	村田 靖彦 (愛宕中)	研究員	竹中 一三 (旭川第三小)

平成25年度 2か月後アンケートの集計結果

～ご協力ありがとうございました～

昨年度より研修講座の際に、2か月後アンケートを実施しております。お忙しい中にもかかわらず期待数を上回るご回答をいただきました。大変ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

〔設問〕 研修成果をどこで活用しましたか？

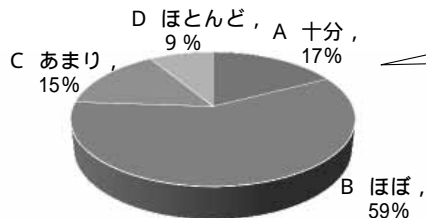


74%の先生方から「日常の実践に役立てられた」との回答をいただきました。

研修成果の発信先については、左図のとおりですが、記述内容から、市教研や全道大会などにも幅広く活用いただいていることがわかりました。今後も日常実践に生かしやすい講座内容にしていきたいと考えて

います。

〔設問〕 受講後、指導内容や方法の工夫改善ができましたか？

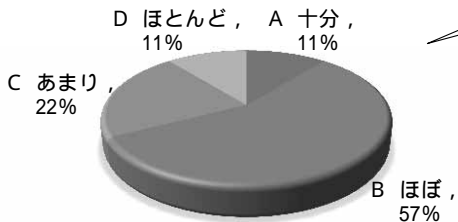


受講後の工夫改善については、「十分にできた」と「ほぼできた」を合わせると7割以上の先生方から指導内容や方法の工夫改善に役立てられたという回答をいただきました。

「自校の研究の深化へつながった。」「研究内容のまとめに生かした。」「公開授業の手立ての工夫に役立てた。」など、具体的な工夫改善が記述されていました。できるだけ、受講者のニーズに合った講座内容となるよう

に努力したいと思います。

〔設問〕 児童生徒や教職員に効果や変容は見られましたか？



「十分に見られた」「ほぼ見られた」を合わせて、68%の皆さんが受講後に、効果・変容があったと回答しました。

また、「以前より児童が意欲的に取り組むようになった。」「生徒への声掛けを意識することで、スムーズな教育活動を展開できた。」などの具体的な記述が多くありました。この他、変容や効果を期待するには、受講後の期間が短いとのご意見もいただきました。

そこで、今年度は、受講後の期間を2か月～3か月として、引き続き「受講後アンケート」を実施いたします。WEBサイトからパソコンはもちろん、タブレットや携帯端末からもご回答いただけますので、今年度もご協力よろしくお願いたします。

この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。

発行日 平成二十六年七月一日
 上川教育研修センター
 〒070-0036 旭川市六条通四丁目
 電話(0166)24-2500
 矢口元晴
 東信印刷株式会社
 印刷所

視察日：十月六日～十月十二日
 応募：七月二十五日(金)まで
 その他：報告書の作成・報告会の開催
 詳細の募集要項は、各学校に
 電子メールで送信します。

目的：教育の先進地フィンランドを
 訪れ、調査研究を通して、上
 川管内の教育の向上に資す
 る。
**フィンランドとの教育交流に
 参加しませんか**

センター貸室料金の改定のお知らせ

今年度4月より、消費税引き上げに伴い貸室料を改訂いたしました。

各区分ごとに10～120円程度の引き上げとなっております。

尚、詳しくは事務室でご確認をお願いします。

